



伊都キャンパスにおける新学生寮「ドミトリーⅢ」の整備計画について

－ 世界に通用するグローバルリーダーを養成する新たな学生寮の建設 －

概要

九州大学では、アジアを軸に世界各地と連携するキャンパス像の実現に向け、伊都キャンパスにシェア型学生寮を整備します。この寮は、日本人学生と留学生4人の混住型寮で、1つのユニットに4つの個室と、キッチン・リビングなどを共有するシェア型寮で、異文化交流、外国語コミュニケーション能力の向上、グローバル人材養成等が期待できます。また、現在、文部科学省に申請している博士課程教育リーディングプログラムのオールラウンド型教育を生活域に組み込んだ学生寮として、世界を牽引するリーダーとなる高度な人材を養成します。

背景

九州大学は、文部科学省が平成21年度から開始した「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に採択されるなど、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能の強化を目指しています。

新キャンパス統合移転事業に併せて、伊都キャンパスには、これまで日本人学生、留学生のための2つの学生寮（ドミトリーⅠ、ドミトリーⅡ）を整備してきましたが、今回、新たな学生寮として、「ドミトリーⅢ」と「国際村」を整備することになりました。

これらの新しい学生寮が完成すると、伊都キャンパス全体の学生寮の収容定員は1,296名になり、日本人学生が留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材養成が促進されます。

内容

- ・建物名称 ドミトリーⅢ
- ・構造・規模 鉄筋コンクリート造 5階建 延床面積 2,600㎡
- ・工期 平成25年夏着工～平成26年完成予定
- ・収容定員 136名（日本人学生、留学生との混住）
- ・寮のタイプ ルームシェア型 4人室×34ユニット

効果

4人が1つの部屋で共同生活を行うルームシェア型の学生寮で、日本人学生と留学生の混住により、異文化交流、豊かな人間形成、闊達な交流を育む生活環境づくりや外国語コミュニケーション能力の向上が期待できます。

リーディング大学院の学生が寝食を共にし、日常的に切磋琢磨する環境をつくり、国際的に活躍し、グローバル化に対応できる高度な人材養成を図ります。

今後の展開

九州大学では、今後も国際的に活躍できる人材の養成を図るとともに、海外の学生が我が国に留学しやすい環境を提供し、平成32年度には3,900人の留学生受け入れを目指します。

【お問い合わせ】

施設部施設管理課長 齊藤 正実

電話：092-642-7105

FAX：092-642-2225

Mail：ssmkatuyou@jimu.kyushu-u.ac.jp

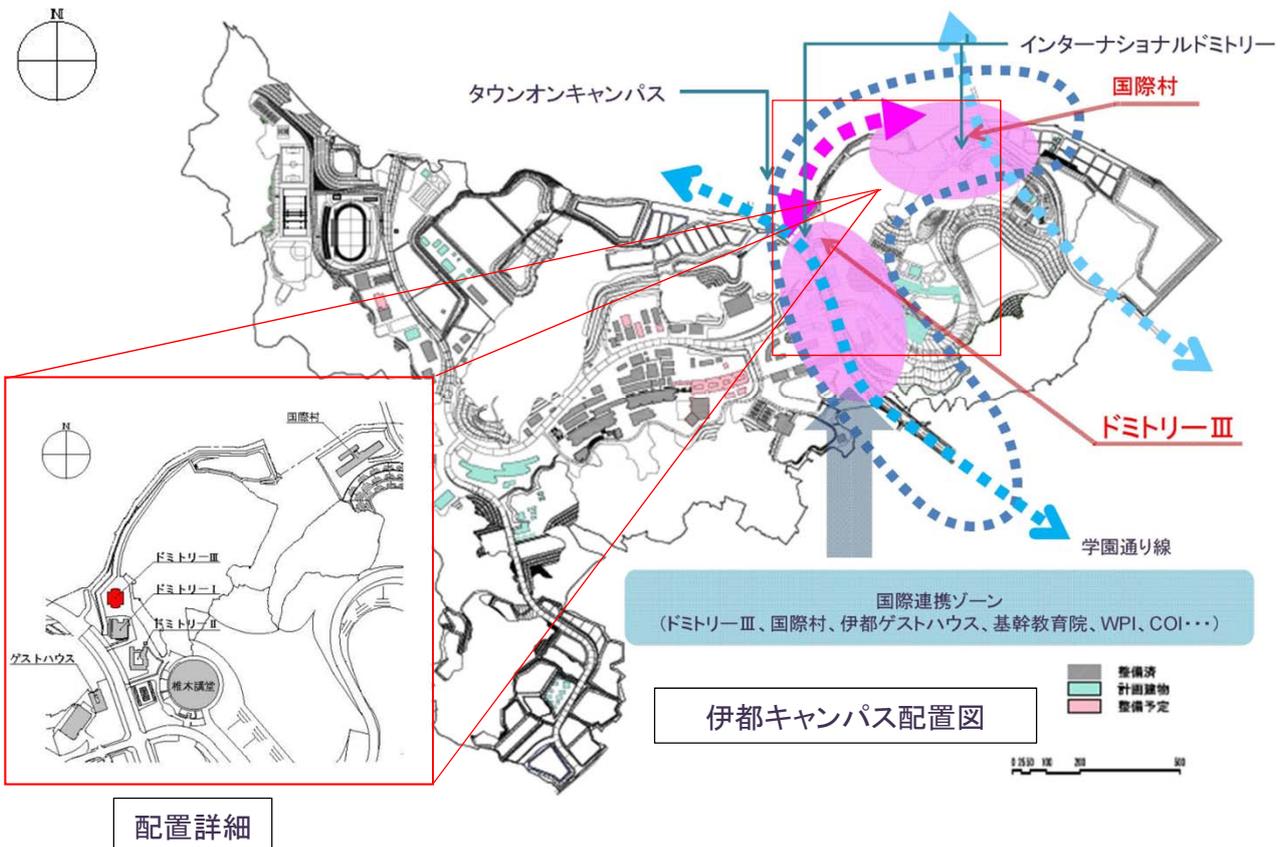
ドミトリーⅢの整備計画

■伊都キャンパスにおける学生寮の整備状況

- ・ドミトリーⅠ RC 10階 延床面積 5,569㎡ 定員 254名 H18年供用開始 単身254室
(学生、留学生が利用、日本人・留学生混住タイプ)
- ・ドミトリーⅡ RC 10階 延床面積 7,150㎡ 定員 294名 H20年供用開始 単身242室 夫婦26室
(主に新入学生、留学生が利用、日本人・留学生混住タイプ)
- ・国際村 RC 9・6階 延床面積 14,520㎡ 定員 612名 H26年供用開始予定 単身552室 夫婦30室
(主に留学生が利用)(H25年6月着工)
(定員計 1,160名)

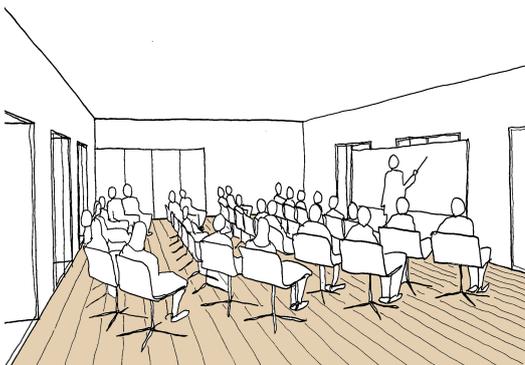
■ドミトリーⅢの建物概要

- ・構造、規模 RC 5階 延床面積 2,600㎡
- ・工期 H25年夏 着工 ~ H26年 完成予定
- ・収容定員 136名 (日本人学生、留学生との混住)
- ・寮のタイプ ルームシェア型 4人室 × 34ユニット
(1F : 2ユニット 2F~5F : 8ユニット×4F = 32ユニット)



グローバル社会を牽引するトップリーダーの育成

- * 博士課程教育リーディングプログラムの実践の場
- * 討議やプレゼンテーションなど、多様な活動に利用可能な多目的室
- * 異文化交流による、多様な考え方や価値観の醸成・グローバルな発想力の体得
- * 多国籍な寮生が切磋琢磨する環境で、国際的に活躍できる人材を育成



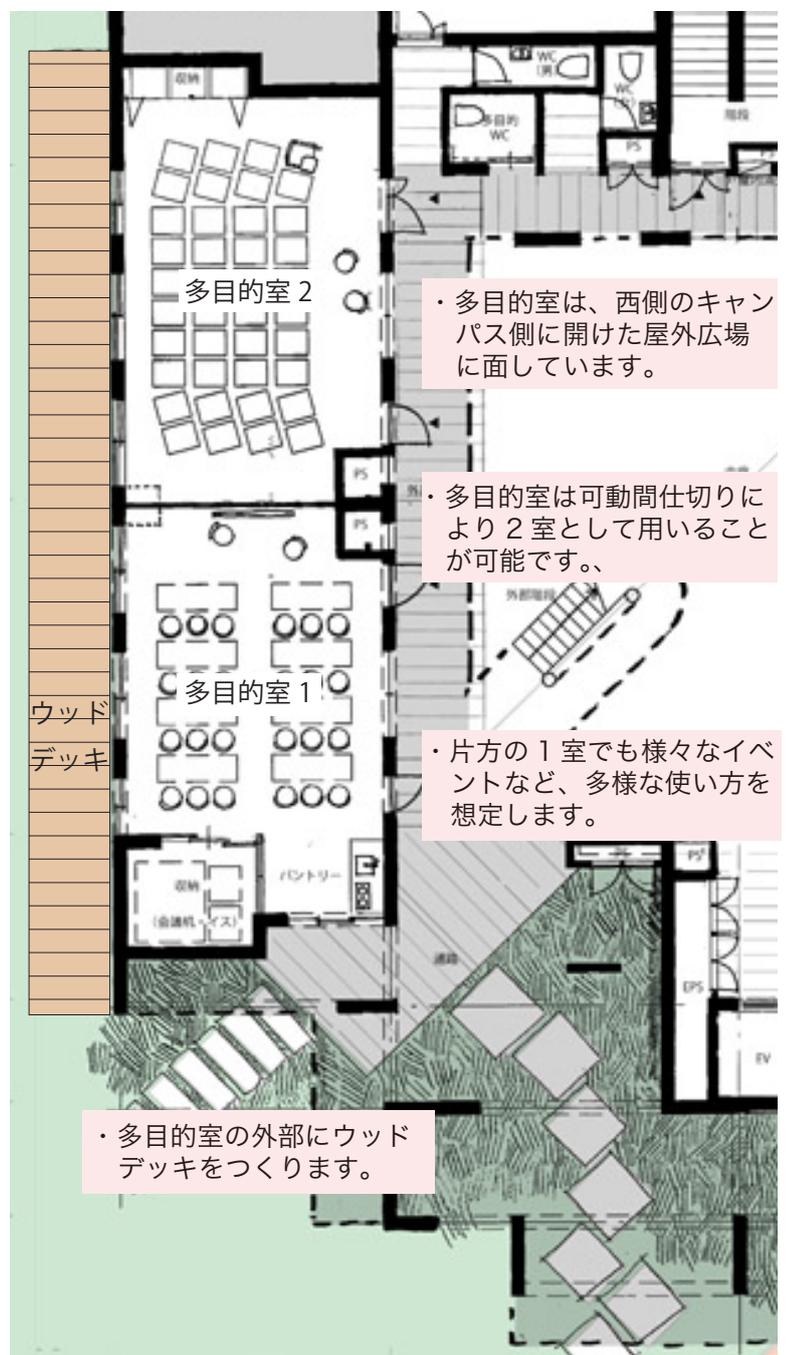
【オリエンテーション・講演会等のイメージ】



【イベント利用のイメージ (仮)】



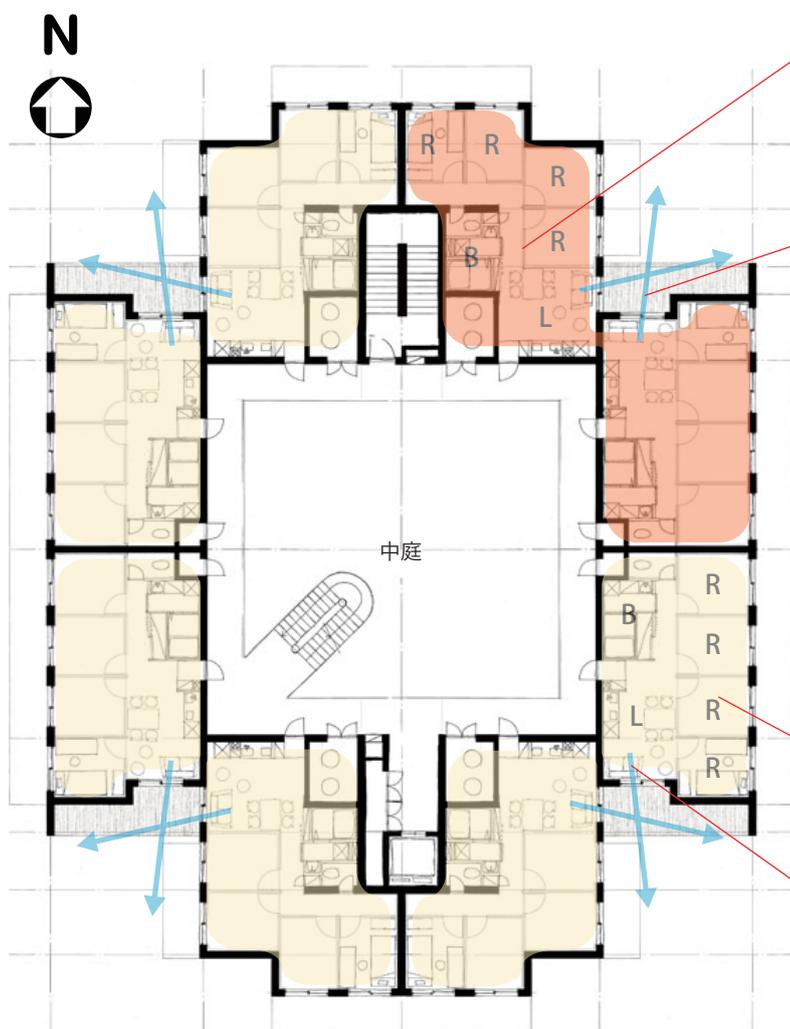
【ウッドデッキのイメージ (仮)】



【1階多目的室付近の平面イメージ】

コミュニケーションを創造する生活拠点

- * 共用のキッチン、リビングなどを有するルームシェア型寮
- * シェア型寮の共同生活により、豊かな人間形成及び闊達な交流を育む生活環境
- * 個人のプライバシーが守られる個室を確保
- * 留学生との混住による外国語コミュニケーション能力の向上



凡例
L: リビング
B: 水廻り
R: 寮室

【基準階 (2~5階) 平面図】

- ・ 個室4室とリビング・水廻りの共有スペースにより、ひとつのユニットを構成
- ・ 各階8ユニット (32人)
- ※1階は2ユニット (8人)

- ・ リビングバルコニー (※) を介した2ユニット8名による交流
- ※テーブルやイスが置けるバルコニー



【リビングバルコニーのイメージ】

- ・ シェア型寮として大切なプライバシーが守られる個室 (ベッド、机、収納、空調機完備)

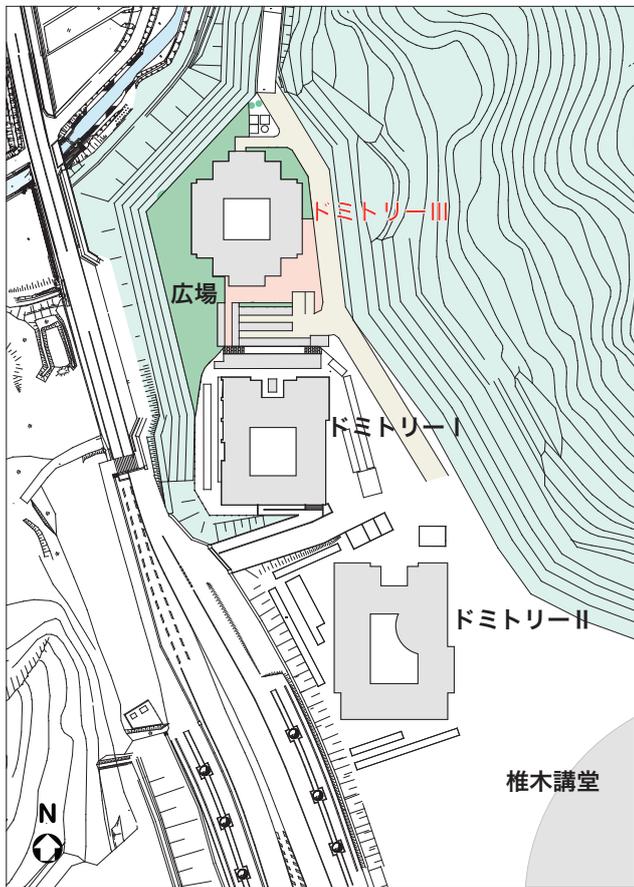
- ・ 全てのリビングが外部に面する
- ・ リビングからの眺望を確保



【北側の景色】

快適な共同生活環境づくり

- * 多目的室、中庭、屋外広場の一体的利用により様々なイベントに対応
- * 屋外広場は芝生を主体として、バーベキューが行えるスペースを整備
- * ひとり～大勢まで快適に過ごせる、様々なしつらえの空間を準備
- * イベントの形態に応じた周辺施設（ドミトリーⅠ・Ⅱ、椎木講堂）の活用



【広場のイメージ (仮)】



【ドミトリーⅠの多目的室】



【ドミトリーⅡのラウンジ】



【中庭のイメージ (仮)】

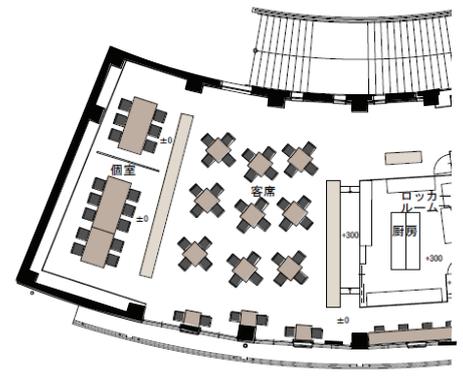
ドミトリーⅢはⅠ・Ⅱに比べ、十分な大きさの広場の整備が可能な敷地です。
広場はⅠ・Ⅱ・Ⅲの寮生がイベントなどで使えるよう整備します。



【ガーデンファニチャーのイメージ (仮)】



【バーベキュースペース (仮)】



【椎木講堂のレストラン (建設中)】

ドミトリーⅢ 設計方針

■ドミトリーⅢの設計コンセプト

○ドミトリーⅢは、九州大学が目指す、アジアを軸に世界各地と連携するキャンパス像の実現に向け、多国籍なシェア型住居の建物である。

さらに、世界を牽引するリーダーとなる高度な人材を育成する博士課程教育リーディングプログラムのオールラウンド型教育を生活域に組み込んだ学生寮とする。

<設計に向けての基本的な考え方>

■グローバル社会を牽引するトップリーダーの育成

……P2

- ・博士課程教育リーディングプログラムの実践の場
- ・1階に多目的室を設け、討議やプレゼンテーションの発表など、多様な用途に利用可能
- ・異文化交流により、多様な考え方や価値観の醸成、グローバルな発想力を体得
- ・日本人学生が、留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材育成

■プライバシーとコミュニケーションを創造する生活拠点

……P3

- ・プライバシーが守られる個室を確保し、共用のキッチン、リビングなどを有するルームシェア型寮
- ・シェア型寮での共同生活により、豊かな人間形成及び闊達な交流を育む生活環境
- ・留学生との混住による外国語コミュニケーション能力の向上

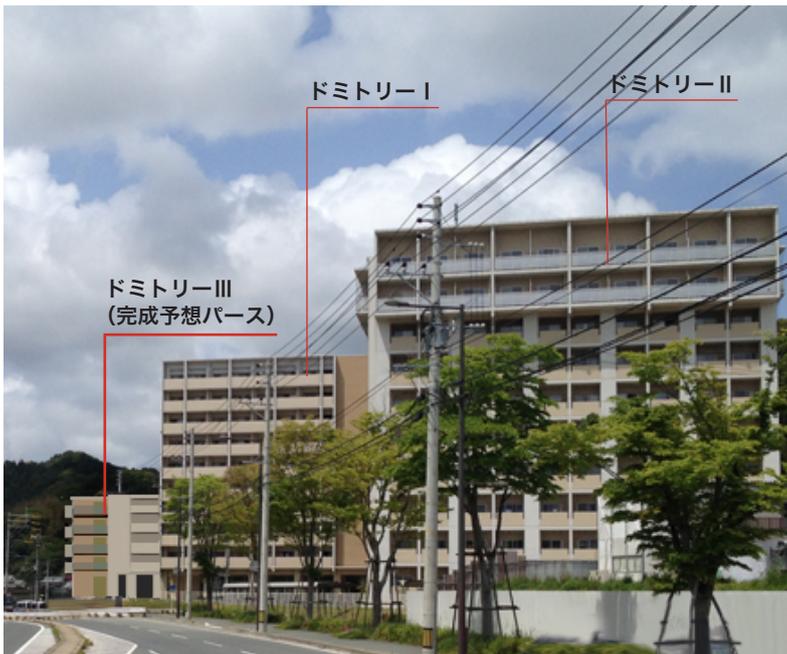
■快適な生活環境づくり

……P4

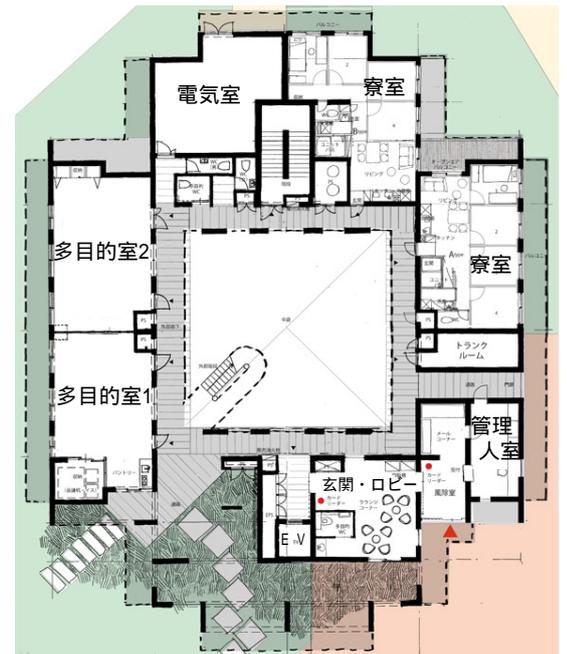
- ・多目的室、中庭、屋外広場の一体的利用による様々なイベントに対応
- ・屋外広場は、芝生を主体として、一部にバーベキューが行えるスペースを形成
- ・多目的室の外側には、ウッドデッキを設け、木の特性を活かしたやすらぎの空間を創出
- ・ドミトリーⅢの共用スペースと、ドミトリーⅠ・Ⅱ及び椎木講堂の共用部分とレストランなどを活用した豊かな寮生活の充実

ドミトリーⅢは、九州大学が目指す、アジアを軸に世界各地と連携するキャンパス像の実現に向けた、多国籍なシェア型住居の建物である。

さらに、世界を牽引するトップリーダー育成のための博士課程教育リーディングプログラムのオールラウンド型教育を生活域に組み込んだ学生寮とする。



【南側外観イメージ (仮)】



【1階平面図】

- ・ 建物はドミトリーⅠ、Ⅱの軸線に合わせた配置とします。
- ・ 外壁は既存寮のアースカラー（アイボリー等）を基調とした色彩とし、吹付けタイルや一部タイル貼りとします。

建築概要	
構造:	鉄筋コンクリート造
階数:	地上5階
延床面積:	約2,600㎡
寮室数:	136室 (4室1ユニット×34ユニット)
対象:	日本人学生・大学院生、 留学生 博士課程教育リーディングプログラム
建設目的:	シェア型学生寮の新設
諸設備:	エレベーター1台 太陽光発電設備
駐車場:	障がい者用1台 サービス用1台
駐輪場:	自転車82台、バイク54台
その他:	屋上緑化



西立面図 (仮)

南立面図 (仮)

